

お金と中央銀行： 歴史と機能、展望

講師 大山 慎介 氏

2021年12月9日（木）

10:30–12:00

人文社会科学部 301 教室

事前申込は不要ですが、教室の定員によっては入場の制限をする可能性があります。

対象：人文社会科学部の学生・教員

人々が普段から利用している「お金」とはどのようなものか、中央銀行がそれを発行していることの意義とは何か、さらには中央銀行デジタル通貨や金融政策など、幅広いトピックについて実務家の視点からお話しいたします。

また、本学卒業生の職員の方からのお話も予定しています。これを機に日本銀行を就職先として考えてみてはどうでしょうか。

講師紹介 大山 慎介 氏 日本銀行仙台支店 支店長

略歴

1991年、東京大学経済学部卒業、日本銀行入行。2015年、同行国際局国際調査課長。2017年、同行松江支店 支店長。2018年、同行調査統計局参事役。2021年より現職。

主な論文

“Identifying oil price shocks and their consequences: The role of expectations in the crude oil market,” (with Takuji Fueki, Jouchi Nakajima and Yoichiro Tamanyu) International Finance, First published: 17 November 2020.

『ウィズコロナ』のもとでの東北の観光，鈴木文佳との共著，日本銀行仙台支店特別調査レポート，2021年6月22日。など多数。